

【HA】口腔健康支援法		歯科衛生学科		3年前期		
教員	松川 千夏	1単位	必修	実習	45時間	
資格・制限等	特になし					
授業内容	歯科衛生業務を展開するためには、対象者の身近な問題や抱える問題を見つけて出し、エビデンスに基づいて解決する能力が必要です。理論的思考ツールである歯科衛生過程を活用して患者個々のニーズに合わせたケアを提供する力を養います。					
実務家教員	歯科医院・保健センター他、歯科衛生士：20年					
授業方法	歯科衛生過程を理解するために、症例を使って個人演習、グループワークを進めていく授業です。					
到達目標	知識・理解	・歯科衛生過程の考え方と構成が理解できる。 ・歯科衛生過程の流れを理論的に説明できる。				
	思考・判断・表現	・演習を通してアセスメント、歯科衛生診断、計画立案、実施、評価までを検討することができる。				
	関心・意欲・態度	・自ら問題点を解決する意欲を持ち、積極的に取り組める。				
	備考	・・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	定期試験	40	-	-	-	40
	演習	-	40	-	-	40
	課題	-	10	-	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合 計(点)	40	50	-	10	100
評価の特記事項	受講態度は学修の取組、課題提出状況等とします。フィードバックとして、課題にコメントし返却します。					
I C T 活用	学生ポータルやGoogle classroomで質問等に対応します。					
課題に対するフィードバック	授業時間外課題については、次回以降の講義でコメントします。					
テキスト	『よくわかる歯科衛生過程』医歯薬出版(3,520円) ISBN:978-4-263-42205-2 『最新歯科衛生土教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』医歯薬出版(8,360円) ISBN:978-4-263-42826-9					
参考書・教材	必要な資料は配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	歯科衛生過程とは ・授業ガイダンス ・歯科衛生過程の考え方とその意義を理解する ・歯科衛生ヒューマンニーズ概念モデルを概要を理解する [課題(復習)]歯科衛生過程の概要をまとめる(2h)					
2	歯科衛生過程の流れの理解 ・アセスメントの構成要素と流れを理解する [課題(復習)]歯科衛生過程の流れをまとめる(2h)					
3	歯科衛生アセスメント1 : * 症例検討(1) - ・情報の収集 (Sデータ・Oデータの抽出)					
4	歯科衛生アセスメント2 : * 症例検討(1) - (グループワーク) ・情報の収集 (Sデータ、Oデータの抽出) : アセスメント表を作成する ・情報の整理・分析 : 歯科衛生アセスメントシートを作成する					
5	歯科衛生診断 1 : * 症例検討(1) - ポータルサイトとclassroomによる遠隔授業 ・情報の統合					
6	歯科衛生診断 2 : * 症例検討(1) - ポータルサイトとclassroomによる遠隔授業 ・歯科衛生診断 : 歯科衛生診断文、プロフレムリスト作成 [課題(他)]歯科衛生診断文、プロフレムリストの完成(2h)					
7	歯科衛生計画立案、歯科衛生介入 : * 症例検討(1) - ポータルサイトとclassroomによる遠隔授業 ・歯科衛生計画立案:目標の設定、計画の立案 ・歯科衛生介入:歯科衛生介入記録を作成する [課題(他)]歯科衛生計画シート、歯科衛生介入記録の完成(2h)					
8	歯科衛生アセスメント : * 症例検討(2) - ポータルサイトとclassroomによる遠隔授業 ・情報収集、情報処理					
9	歯科衛生計画立案 : * 症例検討(2) - ポータルサイトとclassroomによる遠隔授業 ・歯科衛生計画立案:目標の設定、計画の立案 [課題(他)]歯科衛生計画シートの完成(2h)					
10	歯科衛生介入 : * 症例検討(2) - ・POSとPOMRの考え方について理解する ・歯科衛生介入記録(業務記録)を作成する [課題(他)]歯科衛生介入記録の完成(2h)					
11	歯科衛生過程まとめ 1: * 症例検討(3) ・歯科衛生過程(アセスメント、歯科衛生診断、計画立案)の一連の流れを演習を通して確認する					
12	歯科衛生過程まとめ 2 : ・歯科衛生過程(アセスメント、歯科衛生診断、計画立案)の一連の流れを理解する					
時間外での学修	毎回の授業が歯科衛生過程の一連の流れに沿って進んでいくため、次回の授業に未解決な内容が残らないように復習をしておいてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間: 12時間】					
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士として、計画的で論理的なケア過程を実践できるよう、これまで学んできた知識を活用して積極的に授業に取り組んでください。 オフィスアワーは研究室で木曜の放課後(16:10~)です。					

【HA】地域歯科保健活動		歯科衛生学科	3年前期			
教員	久本 たき子・川畠 智子・松川 千夏	1単位	必修	実習		
資格・制限等	特になし					
授業内容	この授業では、地域住民の日常生活をよりよい方向へ導くために必要な地域歯科健康教育の知識・技術を修得します。特に、地域歯科保健活動で学習した内容を地域の小学校において実際に歯科健康教育を実施するために、地域歯科保健活動について学びを深めていきます。また、2014年に「医療介護総合確保推進法」が可決され「地域包括ケアシステム」の構築が謳われています。そのシステムのなかで、地域における歯科衛生士の役割も検討していきます。					
実務家教員	久本：歯科医院・口腔保健センター歯科衛生士・6年 川畠：歯科医院歯科衛生士・5年 松川：歯科医院・保健センター他歯科衛生士・20年					
授業方法	課題学習とグループ・個別演習で行います。必要に応じて質問等がある場合、学生ポータルやメールで受け付けます。					
到達目標	知識・理解	1. 地域歯科健康教育実習の準備学習から、小学生に対する歯科保健指導の実施内容について説明できる。 2. 災害時の歯科保健活動について、説明できる。 3. 地域包括ケアシステムにおける多職種連携について考える。				
	技能	集団へのブラッティング指導技術を身につける。				
	関心・意欲・態度	医療人としての身だしなみを整え、自己管理ができる。				
	備考	・・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験	70	-	-	-	70
	実技試験	-	-	5	-	5
	小テスト	5	-	-	-	5
	受講態度	-	-	-	20	20
	合 計(点)	75	-	5	20	100
評価の特記事項	受講態度は、学修への取組（課題提出と内容）を含み評価します。全授業の3分の1以上欠席の場合、最終試験（筆記試験）の受験資格はありません。					
ICT活用	学生ポータルやゲーゲルクラスルームで質問等に対応します。					
課題に対するフィードバック	授業時間外課題は、次回の授業で担当教員がグループ全員に進捗状況を確認し指導していきます。					
テキスト						
参考書・教材	『新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』、『最新歯科衛生士教本保健生態学第3版』医歯薬出版は、既に購入済。授業で使用するテキスト等は、掲示で確認してください。また、必要に応じプリントを配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	地域歯科健康教育演習 地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割と歯科健康教育を行う注意点について学ぶ。また、小学校実習における現場に沿った原稿と指導媒体であるかを教員と確認し、原稿を修正していく。 [課題（復習）]地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割を復習する。(0.5h)					
2	地域歯科健康教育演習 歯科健康教育を行う指導の注意点に留意し、修正した原稿をグループおよび個別で練習をする。 担当教員がチェックする。 [課題（復習）]授業で会得できなかった原稿を読み直し、練習する。(0.5h)					
3	地域歯科健康教育演習 歯科健康教育を行う指導の注意点に留意し、修正した原稿をグループおよび個別で練習する。 担当教員がチェックする。 [課題（復習）]授業で会得できなかった原稿を読み直し、練習し暗記する。(0.5h)					
4	地域歯科健康教育演習 歯科健康教育を行う指導の注意点に留意し、修正した原稿をグループで練習する。 担当教員がチェックする。 [課題（復習）]授業で会得できなかった原稿を読み直し、練習し暗記する。(0.5h)					
5	災害時の歯科保健活動 ポータルやMeetでの遠隔授業 「災害時の歯科保健」における大規模災害時の保健医療対策や被災地での歯科保健活動について解説する。 [課題（復習）]大規模災害時の保健医療対策や被災地での歯科保健活動についてまとめる。					
6	災害時の歯科保健活動 ポータルやMeetでの遠隔授業 「広域災害時における求められる歯科医療体制」について解説する。現状の問題点と提言をまとめる。 また、現住所の地域防災計画を調べ、医療救護体制について理解を深める。 [課題（復習）]「広域災害時における求められる歯科医療体制」より、現状の問題点と提言を復習する。					
7	個別ワーク ポータルやMeetでの遠隔授業 「地域包括ケアシステムにおける多職種連携」について解説する。多職種と歯科衛生士の連携について演習を通じ考察する。これまでの授業時間外課題のまとめも行う。 [課題（復習）]個別ワークで学んだ事を復習する。(1h)					
8	地域歯科健康教育演習 健康教育を行う指導の注意点に留意し、修正した原稿をグループで練習する。 担当教員がチェックする。 [課題（復習）]授業で会得できなかった原稿を読み直し、練習し暗記する。(0.5h)					
9	地域歯科健康教育演習 グループ発表：2グループごとに発表し改善点を話し合う。各グループが小学校疑似体験授業が出来るようにグループ演習を行う。 [課題（復習）]担当教員からの指導項目と改善点を練習し、確認し最終回の発表に繋げる。(1h)					

内容	
実施回	授業内容・目標
10	地域歯科健康教育演習 ブラッシング指導（集団）の実技試験を行い、評価を受ける。 現場を想定してグループ演習を行ない、小学校疑似体験授業ができるようにする。 [課題（他）]実技試験で技術不足であった対象者は、再チェックを後日受ける。 グループ演習における担当教員からの指導項目と改善点を練習する。（1h）
11	地域歯科健康教育演習 グループ発表：3グループごとに発表を行い、各担当教員より発表に関する評価を受ける。その改善点を話し合い、後日学内で行う小学校疑似体験授業の発表が出来るようにグループ演習を行う。 [課題（復習）]担当教員からの指導項目と改善点を練習し、学内発表に繋げる。（1h）
12	まとめ これまでの授業を復習し、特に第5回～第7回までのテーマに関するまとめを行う。 第7回の授業内容の知識確認を行うため、小テストを受ける。 [課題（復習）]これまでの地域歯科保健活動 を受講した学びについて、知識を整理する。（1h）
時間外での学修	授業時間外での個人練習も必要です。積極的に練習を積み重ねていってください。 [課題]は授業の到達目標に必要となる内容ですので、()内の学修時間をめどにして授業外で確実に学修を進めましょう。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：10時間】
受講学生へのメッセージ	グループ活動が中心となるため、グループ内の協力が重要となります。授業には積極的に参加し、自らの知識・技術の向上を目指すことを期待しています。 オフィスアワーは、久本：木曜日5時限、研究室（G304：G号館3F）松川：木曜日5時限、研究室（G305：G号館3F）川畠：木曜日5時限、研究室（G405：G号館4F）です。

【HA】審美歯科		歯科衛生学科		3年前期		
教員	水嶋 広美	1単位	選択	演習	30時間	
資格・制限等	特になし					
授業内容	近年、口腔の美しさへの要望が高まり、歯科衛生士の臨床においても健康の回復・維持のみならず、審美性への配慮が強く求められている。この授業では、診療補助の精度の向上や、基本的な治療技術あるいは器材に関する知識などに焦点を向け、審美歯科領域における歯科衛生士の役割の重要性について学んでいく。					
実務家教員						
授業方法	講義にて知識や手技の要領を理解し、実習を中心に行っていきます。審美歯科専門医をゲストに実践的な実習も入れながら、ホワイトニングの技術、知識を身につけていきます。授業内容ごとに課題レポート作製しその課題は、次の実習でフィードバックしながら行います。学生ポータルやメールで質問等も受け付けます。授業の状況に置いては、学内の面接授業に相当する遠隔授業と課題学修で行います。					
到達目標	知識・理解	1. 審美歯科領域における、歯科衛生士の役割について述べる。 2. 口腔筋機能療法の活用と効果を理解し、その訓練法を説明しながら実施する。 3. 矯正歯科、インプラント治療における審美歯科としての役割について述べる。 4. ホワイトニングの種類とその適応、使用器材を説明する。 5. ホワイトニングの前準備からアフターケアまでの手順を理解し説明、実施する。				
	技能	ホームホワイトニングに使用する、カスタムトレーの制作方法に取り組むことができる。				
	関心・意欲・態度	実習ごとに課題レポート作成に取り組むことで、審美歯科について関心を持ち、積極的学修に取り組むことができる。				
	備考	・・・ の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	課題レポート	60	-	-	-	60
	まとめレポート	-	-	10	10	20
	製作物	-	-	10	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合 計(点)	60	-	20	20	100
評価の特記事項	課題レポート、まとめレポート、受講態度、提出状況で評価します。作製物は、ホームホワイトニング時に使用するカスタムトレーを作製し評価します。受講態度は授業への取り組みと単元ごとのまとめレポートと提出状態で評価します。筆記試験は、課題で取り組んだレポートを使って行います。全授業の3分の1以上欠席の場合、受験資格はありません。					
I C T活用						
課題に対する フィードバック	授業時間外課題については、授業のなかで活用しコメントをします。					
テキスト	『最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正』医歯薬出版株式会社 2年次に購入済(3,300円)ISBN:978-4-263-42825-2 『最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴』医歯薬出版株式会社 2年次に購入済(3,300円)ISBN:978-4-263-42822-1 『最新歯科衛生士教本 歯科機器』医歯薬出版株式会社 2年次に購入済(3,520円)ISBN:978-4-263-42850-4 『最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』医歯薬出版株式会社 2年次に購入済(4,620円)ISBN:978-4-263-42820-7					
参考書・教材	資料は適宜、配付します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	審美歯科領域における歯科衛生士の役割(矯正治療時の補助・介助 口腔筋機能療法の種類と方法) [課題(復習)]矯正器具の名称と用途・口腔筋機能療法について内容を復習してまとめる(2h)					
2	ホワイトニングについて(ホワイトニングの種類と基礎知識について) ホワイトニングに必要な作業用模型の作製 使用するトレーを作製するための模型作製の相互実習 [課題(復習)]ホワイトニングの種類、手順、薬剤・器材の取り扱いを復習しまとめる(2h)					
3	学内にて面接授業に相当する遠隔授業と課題学修 ホワイトニングのメカニズム、手順、ホワイトニング後の評価と指導について学ぶ。 [課題(復習)]ホワイトニングの利点、禁忌症、メカニズムをまとめる。					
4	学内にて面接授業に相当する遠隔授業と課題学修 矯正器具の取り扱いについて、理解する (1回～3回の課題の確認) [課題(復習・他)]ホームホワイトニング、矯正器具の使用方法について復習しまとめる(2h)					
5	学内にて面接授業に相当する遠隔授業と課題学修 審美歯科領域におけるメインテナンス 審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークの重要性について プロフェッショナルケア、ホームケアの手技、手順、歯科材料を理解する。 [課題(復習)]審美性を維持・向上させるためのハイジニストワークについて復習してまとめる(2h)					
6	ホワイトニングに必要な作業用模型の作製 ホームホワイトニングでの使用するトレー作製 [課題(復習)]ホワイトニングに必要な作業用模型の作製手順を復習してまとめる(2h)					
7	審美歯科領域におけるメインテナンス 審美歯科と歯科衛生士(知覚過敏の対処法、歯科矯正、修復物と歯科衛生士の役割) ホワイトコート手順、器具の使用方法を理解す。 [課題(復習)]審美歯科と歯科衛生士の役割について復習しまとめる(2h)					
8	ホワイトニング実践(外部講師) オフィスホワイトニング・ホームオワイトニングの実践と使用器材とその手順について 実際の症例から診療室でのホワイトニングの活用方法と歯科衛生士の役割を理解する。 [課題(復習)]ホワイトニングの実習内容を復習してまとめる(2h)					

時間外での学修	授業の各回での課題の内容を確実に学修しましょう。レポートについては、内容の不備、誤字脱字のないようにしてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】
受講学生へのメッセージ	外部講師の方の授業もあります。積極的な受講態度と授業のマナーを守った態度で受講してください。オフィスアワーは、研究室(G306:G号館3F)で毎週金曜日の12:00から14:00です。それ以外の時間でも来てください。

【HA】臨床・臨地実習		歯科衛生学科	3年前期						
教員	小原 勝・海原 康孝・加藤 智樹・久本 たき子・松川 千夏・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・		7単位	必修					
資格・制限等	未修得科目数による制限有り								
授業内容	知識・技術を臨床の場で展開しつつあらゆる場面で応用できる能力が備わるように、各実習施設における実習を行う。実習施設は、歯科医院、保健センター、小学校、高等学校、高齢者通所施設である。さらに、多職種連携への理解を深めるとともに、歯科衛生士の役割についても学んでいく。								
実務家教員									
授業方法	学外の各実習施設にて実習を行う。また、質問等がある場合、Academic Advisorや学生ポータル及びメールで受け付けます。								
到達目標	知識・理解	地域の健康支援に関わる歯科衛生士の役割を述べ、専門的知識を修得する。							
	技能	症例に応じた器材を準備し歯科診療の介助を行い感染予防を実践し、対象に合わせた歯科保健指導を実施する。							
	関心・意欲・態度	1.医療人として日常の自己管理に心がけ、主体的な学びから職業的使命感をもつことができる。 2.毎月の臨床実習における学びと反省について自己評価を行い、Academic Advisor に提出する。							
	備考	・・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。							
観点別評価	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)			
	実習日誌	30	-	-	-	30			
	各臨床実習施設の評価	-	-	50	-	50			
	受講態度	-	-	-	15	15			
	毎月の自己評価表提出率	-	-	-	5	5			
	合 計(点)	30	-	50	20	100			
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退した場合、補充を必ず課します。								
I C T活用	学生ポータルで質問等に対応します。								
課題に対するフィードバック	実習日誌・自己評価表の課題をAcademic Advisorに提出し、Academic Advisorからフィードバックを行います。								
テキスト	実習日誌の作成には、1、2年生時に購入したテキストが必要になります。								
参考書・教材	特にありません。								
		内容							
実施回	授業内容・目標								
第1週～15週 (月・火・水)	<第1週～第15週>								
	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習ガイダンス・臨地実習ガイダンスを受ける。 								
	<p>実習施設は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医院における実習（一定期間、学内にて面接授業に相当する課題学修） ・保健センターにおける実習（学内にて面接授業に相当する課題学修） ・小学校における実習（学内にて面接授業に相当する課題学修） ・高等学校における実習（学内にて面接授業に相当する課題学修） ・高齢者通所施設における実習（学内にて面接授業に相当する課題学修） 								
	<p>[課題（予習・復習）] 各実習施設での課題について、予習及び復習を行う。各施設実習 1～3h</p>								
時間外での学修	実習日誌の作成においては、専門用語を使用した内容で記述するようにします。常に教科書等で確認し、記述内容を知識として修得してください。毎月、学外実習に対する自己評価を自己評価表に記入し短大に提出します。自己の振り返りから改善点を見つけ、成長できるようにしましょう。手技・操作の未熟な点は、登校時に時間を有効活用し確実にしてください。また、保健センター実習や高齢者通所施設実習では、事前に他職種の業務について理解を深めておくようにします。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：18時間】								
受講学生へのメッセージ	歯科医院実習では、必ず1週間の行動目標を立て、その目標達成のために努力を惜しまず、積極的に実習に臨みましょう。常に実習生としての自覚ある行動を心がけてください。オフィスアワーは、各クラスのAcademic Advisorの時間帯になります。								

【HA】臨床・臨地実習		歯科衛生学科	3年後期							
教員	小原 勝・海原 康孝・加藤 智樹・久本 たき子・松川 千夏・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・	6単位	必修	実習 270時間						
資格・制限等	未修得科目数による制限有り									
授業内容	修得した臨床歯科医学を基に、歯科衛生士としてより実践的な知識、技術、態度を身につけられるように各実習施設における実習を行う。実習施設は、歯科医院、総合病院、介護老人福祉施設、特別支援学校等、専修クラスにより異なる。また、登校時に専修クラス別で事前学修及び事後学修を行います。									
実務家教員										
授業方法	学外の各指定の実習施設にて実習する。また、質問等がある場合、Academic Advisorや学生ポータル及びメールで受け付けます。									
到達目標	知識・理解	全身疾患の有無や生活習慣等の情報収集により、患者の問題点を抽出しその解決方法について説明できる。また歯科医院で起こる偶発事故の原因と対処法を述べる。								
	技能	患者の安全に配慮した共同動作を実施し、症例に応じた器材を準備し、歯科診療の介助を行う。また、1年間の臨床実習での学びと反省点を報告し、次年度生に臨床実習に関する助言を行い、コミュニケーション能力を身につける。								
	関心・意欲・態度	医療人として日常の自己管理ができ、職業的使命感を持つことができる。								
	備考	・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。								
観点別評価	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)				
	実習日誌・レポート	35	-	-	-	35				
	実習施設からの評価	-	-	40	-	40				
	実習報告発表	-	-	5	-	5				
	受講態度	-	-	-	20	20				
	合 計(点)	35	-	45	20	100				
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退した場合、補充を必ず課します。									
ICT活用	ポータルサイト等を活用した授業支援を行う。									
課題に対するフィードバック	実習日誌・レポート課題をAcademic Advisorに提出し、Academic Advisorがフィードバックを行います。									
テキスト	レポートや日誌の作成には、1、2年生時に購入したテキストが必要になります。									
参考書・教材	特にありません。									
		内容								
実施回		授業内容・目標								
第1週～8週	第1週～第8週	<ul style="list-style-type: none"> 実習施設ガイダンス 各専修クラスのガイダンスを受ける。 								
		<ul style="list-style-type: none"> 各専修クラスでは、毎週登校時、事前学修・事後学修を受ける。 [課題（予習・復習）]各専修クラスでの事前・事後学修に関する予習・復習を行う。（8h） 各専修クラスにおける実習の一定時間は、面接授業に相当する課題学修 総合病院専修クラス指定施設にて実習する 専門的口腔ケア専修クラス指定施設にて実習する。 審美歯科専修クラス指定歯科施設にて実習する。 総合歯科専修クラス指定歯科施設にて実習する。 <p>臨床実習においては、各専修クラス実習は、午前は臨床実習、午後は面接授業に相当する課題学修</p> <p>[課題（復習）] 各専修クラスの課題レポートを行い、各指定施設で学んだ事について復習する。（8h）</p> <p>1年間に亘る臨床・臨地実習で成長した点と自己の課題について発表報告し次年度生に助言する。</p>								
時間外での学修	日誌や指示されたレポート作成は、専門性のある記述内容にするため必ず教科書等で確認し、記述内容が知識として修得するようにします。手技・操作で未熟な点は、登校時に積極的に自習して下さい。各実習施設における対象者の把握は、事前、事後にテキスト等で確認しておくようになります。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：16時間】									
受講学生へのメッセージ	臨床・臨地実習 に修得できなかった実習項目は、この臨床・臨地実習 で積極的に修得するようになります。どの実習指定施設でも実習生としての自覚をもち、的確な判断力や行動力が養える努力をしましょう。オフィスアワーは、各クラスのAcademic Advisorの時間帯になります。									

【HA】臨床・臨地実習		歯科衛生学科	3年前期			
1単位	選択必修		実習	45時間		
教員	小原 勝・海原 康孝・加藤 智樹・久本 たき子・松川 千夏・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・					
資格・制限等	未修得科目数による制限有り					
授業内容	総合病院の歯科・口腔外科における見学実習及び学内実習での課題学修を行う。					
実務家教員						
授業方法	総合病院の歯科・口腔外科において、口腔外科診療室を中心として見学実習を行う。					
到達目標	知識・理解	1. 有病患者に対する知識を備え、口腔外科の施術方法を列挙しその施術に必要な器具、器材の用途を述べる。 2. 感染予防に対する知識及び対処法や器具の消毒・滅菌方法を理解する。				
	関心・意欲・態度	医療人として日常の健康管理に心がけ、主体的な実習を行い自学自習ができる。				
	備考	・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	実習日誌または、課題レポート	30	-	-	-	30
	実習施設評価（学外・学内実習）	50	-	-	-	50
	受講態度	-	-	-	10	10
	レポート提出状況	-	-	-	10	10
	合 計(点)	80	-	-	20	100
評価の特記事項	欠席・遅刻・早退した場合、必ず補充を課します。					
ICT活用						
課題に対するフィードバック	事前にレポート課題を提出し、後日各病院実習担当教員よりフィードバックを行う。必ず指導を受けてから実習施設で実習を行う。					
テキスト	『頸・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔』医歯薬出版株式会社(3,740円)ISBN:978-4-263-42823-8 『臨床検査』医歯薬出版株式会社(2,420円)ISBN:978-4-263-42829-0					
参考書・教材	必要に応じ、1、2年生で購入したテキストを使用する。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
7回	1. 総合病院実習前のオリエンテーションを受ける。 2. 総合病院の歯科・口腔外科で5日間の見学実習を行う。 又は、学内にて面接授業に相当する遠隔授業と課題学修 3. 前のグループからの申し送りと実習終了後のフィードバックを行う。 又は、学内にて面接授業に相当する遠隔授業と課題学修					
	[課題（復習）] 実習終了後学んだことをまとめるために、日誌を作成する。（5～10h）					
時間外での学修	総合病院での見学実習です。実習生として、安全に臨めるように知識・技術の復習を必ず行いましょう。また、事前に課題レポートを作成し、基礎知識を獲得し実習に臨んでください。 【この科目に求める望ましい授業外での総学修時間：10時間】					
受講学生へのメッセージ	学外実習は、理由を問わず欠席は認めません。欠席した日数は、必ず補います。各自健康管理には、十分気をつけてください。また、実習生という立場をわきまえて、謙虚な態度で実習に臨んでください。オフィスアワーは、各病院実習担当教員の時間帯になります。					

【HA】卒業研究		歯科衛生学科	3年前期			
2単位		選択	演習	60時間		
教員	海原 康孝・加藤 智樹					
資格・制限等	特になし					
授業内容	歯科衛生士として広い視野を持つためには、常に課題探求能力の養成が求められる。自ら学ぶべき課題に対し、科学的に分析された情報をもとに研究する能力を修得する事を目的とする。 選択したテーマについて、教員の指導のもとに研究計画を立案し、研究を遂行する。成果を卒業研究発表会にてプレゼンテーションするとともに、卒業研究報告書を作成し、専門的な知識や技術等を身につけることを目的とする。					
実務家教員	海原：歯科医師（大学病院勤務）・27年 加藤：歯科医師（大学病院勤務）・10年					
授業方法	調査・研究の授業なので、図書館等にてテーマ選定や情報収集のため文献検索を行う。データの分析、処理はコンピューター室を使用し行う。研究成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。					
到達目標	知識・理解	研究の目的、情報収集、文献検索、テーマ選択と卒業研究に関連する課題について、基本的な知識を理解できる。				
	思考・判断・表現	共同研究者とともに系統立てた計画に基づき、調査・研究に挑み、試行錯誤しながら課題の解決に向け、プレゼンテーションの場において、その成果を表現することができる。				
	技能	研究データの処理・分析、その結果を課題解決に結びづけて判断し活用することができる。				
	関心・意欲・態度	プレゼンテーション用の資料を積極的に学修しながら作成し、発表・質疑応答に取り組むことができる。				
	備考	・・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	報告書作成	40	-	-	-	40
	発表（表現）	-	20	-	-	20
	発表（技能）	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	-	20	20
	合 計(点)	40	20	20	20	100
評価の特記事項						
ICT活用						
課題に対するフィードバック	研究の進捗状況および課題については、次回の授業で必ずチェックを行う。研究を遂行する上での知識および技術的な事柄については、隨時指導する。					
テキスト	なし					
参考書・教材	自分が選択したテーマにそって、図書館等で文献検索をして情報収集を行う。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	研究テーマについて考える。 [課題（準備）] 卒業研究の目的について理解し、図書館、パソコン等で文献検索を行い、興味ある研究テーマをいくつか選択し、まとめる。(3~5h)					
2	研究テーマを決定する。 [課題（準備）] 文献検索により情報収集を重ね、それを基に研究テーマを決定しまとめる。(3~5h)					
3	研究計画を検討し策定する。 [課題（準備）] 研究テーマに基づき、対象、方法、結果の予測について検討し、計画を立てる。(2~5h)					
4	研究計画を最終的に策定する。 [課題（準備）] 調査対象・方法において、具体的に調査用紙等を作成しデータ収集のための準備をする。(3~6h)					
5	研究テーマを基に、研究データの収集を行う。 [課題（準備）] 研究倫理に従い、インフォームド・コンセントのもと調査対象者等に対してデータ収集を実施する。(4h)					
6	1回~5回までの課題を確認する。 収集した研究データの整理を行い、まとめる。 [課題（準備）] データの整理を行い、パソコンにデータの入力を行う。(2~4h)					
7	収集した研究データを分析し、まとめる。 [課題（準備）] 入力データに対して、統計学的処理を行い、データ分析を行う。(3~6h)					
8	前回に続き、研究データの分析を行い、まとめる。 [課題（準備）] 研究データ分析の結果をもとに、他文献と比較し様々な角度からの分析の必要性について検討する。(3h)					
9	分析結果を検討し、まとめる。 [課題（準備）] データ分析の結果を、研究目的と照らし合わせながらまとめ、結論を導く。(3~6h)					
10	プレゼンテーション用資料の作成を行う。 [課題（準備）] パワーポイントを使用し、研究目的、対象、方法等の資料作成を行う。(3~6h)					
11	6回~10回までの課題を確認する。 前回、作成した資料を基に検討し、プレゼンテーション用資料の完成に向けまとめる。 [課題（準備）] パワーポイントを使用し、結果についてグラフや表などの資料作成を行う。(3~6h)					
12	プレゼンテーション用資料をまとめ、完成させる。 [課題（準備）] パワーポイントを使用し発表全体の資料を完成させ、発表原稿を作成する。(3~6h)					
13	研究報告書の内容を検討し、報告書の作成を行う。 [課題（準備）] 緒言、対象、方法、結果について論文形式で報告書の作成を行う。(3~4h)					
14	前回作成した研究報告書を再度検討し、次回の完成に向けてまとめる。 [課題（準備）] 先行文献と比較検討して考察を行い、結論、参考文献に記載をする。(4h)					
15	11回~14回までの課題を確認する。 研究報告書について重ねて検討し、完成させる。 [課題（準備）] 研究報告書全体を見直し、内容、体裁ともに確認をして完成させる。(3~6h)					

時間外での学修	各回の卒業研究の課題に対して、図書館やパソコン等で文献検索や情報収集を行い、発表、報告書の作成に至るまでの準備学修をしてください。わからない点、疑問点は自ら調べ、解決への努力をしてください。自分で調べても問題解決できない場合は、研究室を訪ねてください。【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：41時間】
受講学生へのメッセージ	将来、広い視野と課題解決能力を持った歯科衛生士となるために、自らが積極的に卒業研究に取り組んでください。また、質問して解決することも必要です。 オフィスアワーは研究室（海原G206、加藤G204：G号館2F）で毎週木曜日の16:20～17:30です。

【HA】歯科総合演習		歯科衛生学科		3年前期		
教員	小原 勝・海原 康孝・加藤 智樹・久本 たき子・松川 千夏・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・	1単位	必修	演習	30時間	
資格・制限等	未修得科目数による制限有り					
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目について、1年、2年時に学んだ事項を復習し総括する。また、問題演習などにより各科目への理解を深め、歯科衛生士国家試験に必要な知識を身につけるよう進める。なお、前期では専任教員全員が担当する科目を中心とした演習を行う。学生からの要望やメッセージがあつた場合には、学生ポータルでのメール対応、個人指導など様々な方法の中から最善のものを選んで対応する。					
実務家教員						
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。					
到達目標	知識・理解	1.これまで学習した口腔保健分野科目に関する内容を復習し、総括する。 2.問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。 3.問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、知識を高める。				
	備考	・・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。				
観点別評価	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験	100	-	-	-	100
	合 計(点)	100	-	-	-	100
評価の特記事項	筆記試験の合格は、6割5分以上とします。					
I C T活用						
課題に対するフィードバック	授業で提示された課題については、指定された期日に回収し、チェックした上で解説を行う。また、知識が身についているかどうかを確かめるため、授業中に問題演習を行う。					
テキスト	『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会編集 一般社団法人口腔保健協会(3,240円) ISBN:ISBN:978-4-89605-344-9					
参考書・教材	各科目で使用したテキストを使用します。必要な資料は適宜配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	小児歯科学についての重要事項を述べる。(担当:海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
2	歯内・歯周病学についての重要事項を述べる。(担当:加藤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
3	矯正歯科学についての重要事項を述べる。(担当:海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
4	歯科予防処置(1):予防的歯石除去についての重要事項を述べる。(担当:今井) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
5	歯科予防処置(2):う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。(担当:松川) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
6	歯科矯正学についての重要事項を述べる。(担当:海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
7	保存修復学についての重要事項を述べる(担当:加藤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
8	1回~7回までの課題を確認する。 口腔外科学についての重要事項を述べる。(担当:小原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
9	歯科補綴学についての重要事項を述べる。(担当:加藤) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
10	歯科診療補助(1):臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。(担当:水嶋) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
11	歯科診療補助(2):歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。(担当:飯岡) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
12	歯科診療補助(3):感染症についての重要事項を述べる。(担当:藤塚) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
13	歯科保健指導(1):保健指導の基礎についての重要事項を述べる。(担当:川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
14	歯科保健指導(2):食事指導法、在宅訪問歯科指導に関する重要事項を述べる。(担当:久本) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
15	8回~14回までの課題を確認する。 高齢者歯科学についての重要事項を述べる。(担当:久本) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまとめる。(1h)					
時間外での学修	各授業で学んだ内容はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点があれば必ず担当教員に質問し、早期に解決するようにして下さい。また、決められた課題は必ず期限までに行い提出して下さい。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間:15時間】					
受講学生へのメッセージ	歯科衛生士国家試験の対策のためには、できるだけ多くの問題に触れ、それらを繰り返し学修することが重要です。毎日学習に取り組む習慣を身につけて下さい。 オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。					

【HA】歯科総合演習		歯科衛生学科		3年後期			
教員	小原 勝・海原 康孝・加藤 智樹・久本 たき子・松川 千夏・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子・	1単位	必修	演習	30時間		
資格・制限等	未修得科目数による制限有り						
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識を身につけるよう進める。 なお、後期においては専任教員および非常勤講師全員で歯科衛生士国家試験に関わる全科目の授業を行う。学生からの要望やメッセージがあった場合には、学生ポータルでのメール対応、個人指導など様々な方法の中から最善のものを選んで対応する。						
実務家教員							
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。						
到達目標	知識・理解	1. 口腔保健分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。 2. 問題演習などにより、口腔保健分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。 3. 専門基礎・臨床歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し、総括する。 4. 問題演習などにより、専門基礎・臨床歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、そして知識を高める。					
	備考	・・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。					
観点別評価	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計(点)
	筆記試験		100	-	-	-	100
		合 計(点)	100	-	-	-	100
評価の特記事項	筆記試験の合格は、6割5分以上とします。						
ICT活用							
課題に対するフィードバック	授業で提示された課題については、指定された期日に回収し、チェックした上で解説を行う。また、知識が身についているかどうかを確かめるため、授業中に問題演習を行う。						
テキスト	『徹底分析！年度別 歯科衛生士国家試験問題集 2021年度版』歯科衛生士国試問題研究会編 医歯薬出版(4,070円)ISBN: 978-4-263-42091-1 『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会編 一般社団法人口腔保健協会(3,240円)ISBN: 978-4-89605-344-9						
参考書・教材	1年、2年時において学んだ歯科衛生士国家試験に関わる全ての科目的歯科衛生士教本。 必要な資料は適宜配付します。						
内容							
実施回	授業内容・目標						
1	解剖学、口腔外科・歯科麻酔学、生化学、細菌学についての重要事項を述べる。(担当: 小原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
2	小児歯科学、矯正歯科学、障がい者歯科学、歯科放射線学についての重要事項を述べる。(担当: 海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
3	生理学(担当: 南)、口腔生理学(担当: 絆尾)についての重要事項を述べる。 [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
4	微生物学についての重要事項を述べる。(担当: 小原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
5	薬理学についての重要事項を述べる。(担当: 坂井) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
6	口腔衛生学についての重要事項を述べる。(担当: 塚本) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
7	衛生学・公衆衛生学、衛生行政社会福祉学についての重要事項を述べる。(担当: 小原・北嶋) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
8	1回～7回までの課題を確認する。 歯科予防処置(1)：歯周病学、予防的歯石除去についての重要事項を述べる。(担当: 今井) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
9	歯科予防処置(2)：う蝕予防処置などについての重要事項を述べる。(担当: 松川) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
10	歯科臨床概論、保存修復学、歯内療法学、歯周病学、歯科補綴学、病理学についての重要事項を述べる。 (担当: 海原) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
11	歯科診療補助(1)：歯科衛生士概論、臨床検査、保存・口腔外科の治療時についての重要事項を述べる。 (担当: 水嶋) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
12	歯科診療補助(2)：歯科材料の種類と取り扱いについての重要事項を述べる。(担当: 飯岡) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
13	歯科診療補助(3)：感染症についての重要事項を述べる。(担当: 藤塚) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
14	歯科保健指導(1)：保健指導の基礎についての重要事項を述べる。(担当: 川畠) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						
15	8回～14回までの課題を確認する。 歯科保健指導(2)：栄養学、高齢者歯科学、についての重要事項を述べる。(担当: 久本) [課題(復習)] 問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)						

時間外での学修	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。夏期休暇直前に全員が購入する問題集（2冊）を夏期休暇中に自学自習し終えるようにしてください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間：15時間】
受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた2冊の問題集を、夏季休暇中に計画を立て学修して下さい。問題に触れることでより理解力するようにしてください。 オフィスアワーは、各科目的先生方の時間になります。

【HA】歯科医学特講		歯科衛生学科		3年後期	
教員	小原 勝・海原 康孝・加藤 智樹・久本 たき子・松川 千夏・水嶋 広美・飯岡 美幸・今井 藍子	1単位	選択	演習	30時間
資格・制限等	特になし				
授業内容	歯科衛生士国家試験に関わる歯科医学関連科目において1年、2年時に学んだ事項を復習し、総括するとともに、問題演習などによってそれぞれの科目への理解と応用力を深め、歯科衛生士国家試験に対応する知識をアクティブ・ラーニングを活用して身につけるよう進める。学生からの要望やメッセージがあつた場合には、学生ポータルでのメール対応、個人指導など様々な方法の中から最善のものを選んで対応する。				
実務家教員					
授業方法	各科目担当教員が作成した歯科衛生士国家試験に沿った問題を解き、それを基に質疑応答を加えながら解説を行い、理解が深まるよう進める。				
到達目標	知識・理解 備考	1.歯科医学分野科目においてこれまで学んだ事項を復習し総括する。 2.問題演習などにより、歯科医学分野科目への理解と応用力を深め、歯科医学に関する知識を高める。 ・・の記号は、DP・到達目標との結びつきの強さを示しています。			
観点別評価	評価方法 課題プリント	評価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 技能 関心・意欲・態度 合計(点) 100			
評価の特記事項	I C T活用 課題に対するフィードバック テキスト 参考書・教材	授業で提示された課題については、指定された期日に回収し、チェックした上で解説を行う。また、知識が身についているかどうかを確かめるため、授業中に問題演習を行う。 『歯科衛生士のための主要3科+専門分野問題集 第3版』全国歯科衛生士教育協議会 一般社団法人口腔保健協会(3,300円)ISBN:ISBN:978-4-89605-344-9 必要な資料は授業で配付します。			
実施回	内容				
1	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・水嶋・飯岡・藤塚) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
2	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・水嶋・飯岡・藤塚) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
3	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・水嶋・飯岡・藤塚) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
4	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・水嶋・飯岡・藤塚) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
5	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・水嶋・飯岡・藤塚) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
6	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・水嶋・飯岡・藤塚) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
7	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。1 - 7回目までの課題の確認。 (担当:小原・海原・加藤・水嶋・飯岡・藤塚) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
8	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・久本・今井) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
9	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・久本・今井) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
10	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・久本・今井) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
11	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・久本・今井) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
12	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・久本・今井) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
13	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・久本・今井) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
14	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。(担当:小原・海原・加藤・久本・今井) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
15	歯科医学関連科目についての重要事項を述べる。8 - 15回目までの課題の確認テストを実施。 (担当:小原・海原・加藤・久本・今井) [課題(復習)]問題プリントや資料等を復習しまどめる。(1h)				
時間外での学修	各授業で学んだ事項はその日のうちに復習し、理解しにくい点や疑問点がある場合はオフィスアワー等を活用して担当教員を尋ね、早期に解決しましょう。全員が購入する問題集に取組み、繰り返し復習してください。 【この科目で求める望ましい授業外での総学修時間: 15時間】				
受講学生へのメッセージ	国家試験に合格するために『テキスト』の項目に挙げた問題集について計画を立て学修して下さい。問題に触れることでより理解力するようにしてください。 オフィスアワーは、各科目の先生方の時間になります。				